

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		情報教育推進事業費 [情報教育推進事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	1	教育総務費	目	3	教育指導費	事業番号	17	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	教育指導			課			指導			係	課長名	佐藤 洋士
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	児童・生徒				児童・生徒数							
	→											
1 この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)							
	近年の高度情報化社会に対応した教育を進めるために、IT機器を活用しながら学習をするための環境整備ができている状態。				パソコンの設置台数							
	→											
1 この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
	各小・中学校における情報教育及び学校のICT化を図るために、コンピュータ教室の整備等の検討を進めた。				パソコン1台あたりの児童・生徒数							
	→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	6,571	6,562	6,556		/				
	成果指標	②の数値	台	580	580	600						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
活動指標	③の数値	人	11	11	11		/					
3 経費	事業費(実績)		円	53,868,889	58,958,928	61,726,320		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	53,868,889	58,958,928	61,726,320						
		特定財源	円									
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人									
		職員人件費(再任用以外)	円	412,650	412,200	415,500						
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	54,281,539	59,371,128	62,141,820							
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成11 年度									
	(2) 環境の変化		文部科学省が定める平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針についての中で、3クラスに1クラス分程度の学習コンピュータの配備が望ましいとされていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、早急に児童生徒1人1台端末の整備が必要とされている。									

事業名称	情報教育推進事業費 [情報教育推進事業]			
担当部署・課長名	教育指導	課	指導	係 課長名 佐藤 洋士

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 授業内容に様々な工夫を加えるため、学習用ソフト等の導入について希望の声が多かった。また、タブレット等の機器に実際に触れることで、子どものICTに対する関心が高まっている。
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可) <input type="checkbox"/> 取り組んだ <input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない 取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体：) ⑦後援・場の提供 ⑧その他()
7 課題	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 (1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3))を転記) 保守運用の効率化はある程度実現できている。そこで、ICT環境を推進していくにあたってのさらなる環境整備が必要となっている。 (2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 少ないとされていた第一小学校の端末数を増やしている。また、1人1台端末整備の実現に向け、情報収集を実施した。 (3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) 1人1台端末整備の実現へ向け、端末の購入や学校のLAN工事の実施について検討する必要がある。また、統合型校務支援システム等の導入を実施し、適切な運用・管理を図ることで、学校におけるICT教育の更なる推進につなげる。
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。) 施策名： 学校教育の充実 <input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名：)
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など) <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 【取組内容】 児童生徒1人1台端末整備の実現を図るとともに、計画的に整備を進めていく。 校務ネットワークシステムの更新、統合型校務支援システムの導入等を実施し、学校のICT環境の充実を図る。 (2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 学校の意見や外部の意見を参考に、児童生徒の教育に十分に活用することが可能な機器の選定が必要である。 更新作業やサーバーの切り替え等、現行のシステムに影響を与えずに運用できるように、受注業者等と密に調整する必要がある。